

第8回本町田ひなた小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会 書面開催結果

1 検討事項

(1) 本町田ひなた小学校の校歌について

校歌の歌詞の地名部分について、新たな歌詞とすることに3校長と事務局にて方向を整理したため、歌詞の修正案について、各委員の意見を確認した。

<委員意見一覧>

委員	意見
A	ご提案の修正案にて、特に異論はありません。
B	皆さんの意見が分かれてしまうようでしたら、他の歌詞（地名に拘らず）にした方が良いのかなと思いました。私は修正案に賛成です。
C	たくさんのご意見が出たときに、皆さんとても思いが強く譲れない感じでしたが、本町田を大切にしたいは皆さん一緒に今回考えてくださった歌詞はとても良いと思いました。 言葉での表現が難しいのですが、新たな歌詞から時代の流れも感じ、色々な意味で線を引きかないことで団結力が生まれたり、最初にあった歌詞の意味合いとは全く別でもっと奥深い解釈ができる歌詞だと思いました。
D	校歌歌詞について、原案が地域色があって最も良いとは思いますが、修正案も固有名詞を使わないことによって普遍性が生まれ、また良いのではないかと思います、賛成いたします。
E	修正案、すばらしいと思いました。 もともと使われていた地名を思い描け、また過去もいまも未来もすべてつながるような響きと広がりが感じられて、感動しました。いろいろ考えてくださり、ありがとうございます。
F	新しいフレーズに賛成いたします。 流れる様な言葉の響きが良いと思いました。
G	修正案に賛成します。
H	①「滝の沢」について 滝の沢はバス停や交差点名にもあり聞いたことがあるし、小学校で生き物採取などで知っているはずなので、私は入れていただきたい ②「井手の沢」について 正直聞いたことがないので、なんとも言えない。 今後通学する児童や指導する先生は知っているのか？ 自身になじみがあっても、実際に通学予定の児童が知らないのであれば小学校の歌詞なので調べないと意味がわからないということは避けて欲しい。あえて入れない選択肢も検討して欲しい。

	③地名を使わない案について 学区域内であっても知らない地名を入れても児童たちが親しみを持ってもらえないのであれば意味はない。 子どもたちが知っているのであれば入れてもらえたら嬉しいが、連想ではなく、地名として入れて欲しい。
I	いいと思います。賛成です。
J	歌詞に土地名を入れてほしいと依頼したのに、今度は入れない歌詞をお願いしたり・・・山田准教授には大変ご迷惑とご苦勞をおかけしたと思っております。 代替えの歌詞はとても素晴らしいと思います。 地元のお年寄りから「本町田は昔から水が豊かだったから人が集まり、住み着き、農業が盛んになった」「昔は家の敷地内にも水が湧いている場所があり、そこで顔を洗ってから学校に行った」などという話を聞きました。水とは河川だけでなく生活に密着したもの、本町田は水に恵まれていた土地だということが「湧き出ずる・たたえる恵み」という歌詞から読み取れます。直接の歌詞にはなくても、子どもたちには「井出の沢・滝の沢・恩田川」はふるさとの大切な場所だと思いながら歌い繋いでいってほしいです。
K	前後につながりがあり、自然な流れでいいと思う。賛成です。
L	歌詞の地名部分に関する歌詞の修正案について、 歌詞で用いた地名は、地域の要所でもあり、残らないのは、少し残念ですが、修正案の解説を読み歌詞のイメージを理解致しました。 感想としては、わだかまりの残らないベストな案として受け入れ易いと思います。
M	山田先生の見解に賛成させていただきます。
N	「校歌の地名部分の歌詞に関してましては、新たな歌詞とすることで方向を整理しました。」上記に賛成です。
O	修正案の解説の通りでけっこうです。 上の４行、青と水のイメージの対比、今と未来が時の流れでつながる、など本当によく練られていると改めて思いました。 下の４行の心の中に境界を引かない、境界を温かく見るというポリシーを改めて載せていただいたのはこの考えに強く共感しているだけに嬉しかったです。
P	私は歌詞の修正案に賛成します。 一滴の水が 湧き出て 集まり流れる様は、スケール感も大きく、子供が育ち成長していく事にイメージが重なりとても良い感じがします。
Q	滝の沢、井出の沢については、子ども達に馴染みがある点で滝の沢の方が良い気がするのですが、井出の沢にこだわる方々の気持ちもわかり、どちらを選んでもスッキリ収まらないでしょう。 入れずに新しくする事には賛成です。新しい歌詞は、初めて見た時は分かりづらい気もしたのですが、全体を通して読み返すとスッキリしていて良いのではないのでしょうか。

R	子どもたちは地名にこだわりはない。知らない地名であっても、興味を持って調べればいいのでいいと思うが、地域の方々の気持ちもあるので、地名無しの案にすればみんなが気持ちよく歌える校歌になるのでは。
S	前後のつながりもあり、地域の皆様の意向も入っているので、新しい歌詞でよいと思います。
T	子供たちが、心から校歌を誇りに思い、声高らかに歌ってほしい。そのためには、校歌の歌詞について地域・保護者の中にわだかまりが残るような歌詞にはしたくない。地域にあり続ける学校の校歌として、誰からも愛され、歌い継がれる歌詞であってほしいと願う。 上記の理由から、山田先生に新たな歌詞の制作をお願いする案に賛成である。
U	山田教授の意見に賛成します。 いでの沢、滝の沢で意見が委員の中で分かれていることであれば、水をたたえている地域として歌言司に表すという考えはよいと思います。
V	修正案は、言葉から元の歌詞がイメージできる。修正するとしたらふさわしい案だと思う。
W	前回の協議会に参加し、「滝の沢」「井出の沢」（それぞれに意義や良さがあるので）どちらかを選択するのは難しいと感じていました。今回の「滝の沢」「井出の沢」双方を連想することができる新たな歌詞（修正案）がよいと思います。

2 書面開催結果

上記の委員意見を参考に、3 校長と事務局の協議のうえ、3 校長が9 月中に本町田ひなた小学校の校歌を決定する。結果については、11 月5 日（火）の第9 回推進協議会にて報告する。